

12月

みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

■展示観覧料が必要です。
※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。どどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

2日
(日曜日)

時間 : 14:30 ~ 15:30
話者 : 横山廣子 (国立民族学博物館 准教授)
話題 : 黄土文明と現代中国
——山西省介休市で展開する観光開発
会場 : 本館展示場内ナビひろば

9日
(日曜日)

時間 : 11:00 ~ 12:00
話者 : 寺田吉孝 (国立民族学博物館 教授)
話題 : グローバル化するインド舞踊
会場 : 本館展示場内ナビひろば

16日
(日曜日)

時間 : 14:30 ~ 15:30
話者 : 園田直子 (国立民族学博物館 教授)
話題 : 資料の公開・活用のためのひとくふう
会場 : 東南アジア休憩所

23日
(日曜日)

時間 : 14:30 ~ 15:30
話者 : 小林繁樹 (国立民族学博物館 教授)
話題 : 年末年始展示イベント「へび」と教職員研修会
会場 : 本館展示場内ナビひろば

1年間みんなくに何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
 - ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
 - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

編集後記

今月の『月刊みんなく』大阪特集号では巻頭の千字文で、松本修氏がマスコミの流布した大阪イメージについて書いておられる。編集子もそれに関しては日頃からまったく同感で、溜飲がさがる思いで読んだ。わたし自身大阪生まれで、人生の大半を大阪で過ごし、生粋の大阪人だともっている。しかし、一般にいわれるように阪神ファンでもなく、お好み焼きやたこ焼きは食べない。「よしもと」の芸風やわがもの顔のノリはこのまず、大阪弁ですごんだりもほとんどしない。そんな十把一絡げの大阪人像への反感もあって、他所では大阪イメージをふりまかないように言動には極力注意している。それなのに、あつけなく見破られ、おまけに典型的な大阪人などといわれてしまうのだ。そのたび、はからずも身に染みこんでしまった大阪文化の濃さとしつこさを実感させられている。ちょっとやさそつと表面をこすったところで剥がせるものではないらしい大阪人の本質とは何だろう。(庄司博史)

2012年11月号「フィールドで考える」(p22-23) の内容に誤りがありました。下記の通り訂正いたします。
p22 1段目後ろから7行目 笹崎鹿踊りは、太鼓踊り系に分類される

●表紙: 桂米之助アーカイブ 資料番号 904
暦付き引札 (明治 42 年)、國分屋 田尾商店。

次号の予告

特集 巳・へび(仮)

月刊みんなく 2012年12月号
第36巻第12号通巻第423号 2012年12月1日発行

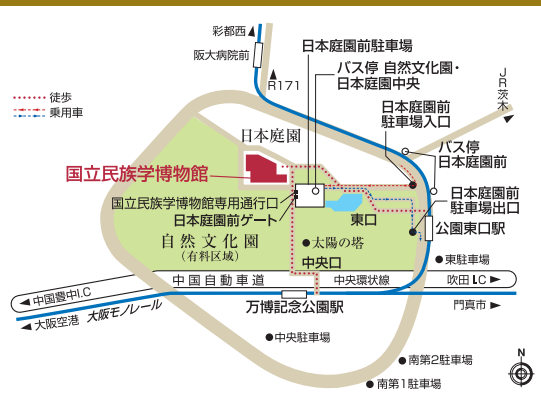
編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂
編集委員 庄司博史 (編集長) 小川さやか 樫永真佐夫
久保正敏 菅瀬晶子 山中由里子
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一孝
制作・協力 財団法人 千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分 (茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。)
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料) から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてください。



みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

